



令和6年7月21日
釜石海上保安部

釜石海上保安部ラジオ工作教室を開催 ～日頃の海上保安業務へのご理解とご協力に感謝を込めて～

釜石の皆様のご理解とご協力に感謝を込めて、7月20日と21日、ラジオ工作教室を開催、釜石市内などの小中学生と保護者、合計39名が参加しました。

ラジオ工作で、海上保安業務でも使われている電波への興味をきっかけに、海上保安庁を少しでも知って関心を持ってもらい、将来大きくなり、故郷、三陸のきれいな海を守る海上保安官になってもらえたら、私達はとても幸せです。

工作教室は、日本航路標識協会、日本無線(株)や(株)サンコーシヤのボランティアスタッフと海上保安部職員のサポートで行いました。

「電波とは何？」の解説、そして、ゴーグルや半田ゴテなどの安全具や工具の使い方の説明を行いました。

いよいよ工作開始、子供達はラジオキットを見て、「えー、ホントに作れる？」「難しそう！」の声が上がりました。アンテナのコイル巻きや部品の半田付けを始めると、一転、工作教室は真剣な雰囲気になりました。

完成して、ラジオから音が聞こえると、満面の笑み、イヤホンに耳をあて、地元のFM放送などを夢中で聞き入りました。

また、夏休みを前に、子供達の水難事故防止のための安全教室も開催、離岸流からの脱出方法や開設された海水浴場で泳ぐことなどを説明しました。

釜石海上保安部は、美しい青い空と海と緑の大地、自然豊かなこの三陸海岸で地域の皆様との絆を大切に、安全安心の確保に努めます。



半田ごてを使って部品の取り付け



アンテナのコイル巻



水難事故防止のための安全教室



完成したラジオと記念撮影 20日



完成したラジオと記念撮影 21日